

夢のデュオ! やつと誕生。

やっと豊嶋さんとのデュオが実現!

桐朋学園大学同期で、同年、同月生まれ。小さな学校なので当然お互い顔見知り、卒業後もお互いの活動をそれなりに把握し、時折お互いの演奏会に客として顔を出し、また喫煙所では煙草を吸いながら仲良く雑談…。そんな仲でしたが、不思議と「二人で演奏する」機会には一度もめぐまらなかった私達でした。一緒にしたいと思いついておりましたが、なかなかチャンスもなく……。でもお互いデビューに丁度 30 周年を迎え、夢がかないました。

お互い 50 歳を越えてからやつとですよ。本当に感激。

皆様! どうかこのデカ&チビコンビを宜しくお願い申し上げます。(中野振一郎)

デビュー 30 周年記念

豊嶋泰嗣^(vi) & 中野振一郎^(cemb)

デュオ・リサイタル

Yasushi Toyoshima & Shinichiro Nakano
2017.2.2 [木] 19:00 開演 (18:30 開場)

会場 / 京都コンサートホール <アンサンブルホールムラタ>

京都市左京区下鴨半木町 1-26 地下鉄烏丸線「北山駅」下車①③番出口南へ徒歩 3 分

入場料(税込) / ¥ 3,500 (当日 ¥ 4,000) (全席指定) ※未就学児の入場はご遠慮ください

主催・お問い合わせ エラート音楽事務所 (TEL: 075-751-0617) 共催 京都コンサートホール (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)・京都市

チケット販売所 京都コンサートホール 075-711-3231 ロームシアター京都 075-746-3201 エラート音楽事務所 075-751-0617

ローソンチケット (Lコード: 54962) 0570-084-005 チケットぴあ (Pコード: 312-971) 0570-02-9999

● プログラムは裏面をご覧ください。

プログラム
Program

A. ヴィヴァルディ：マンチェスター・ソナタ 第5番 変ロ長調 RV759
A. Vivaldi : The Manchester sonata V B \flat major

H.I.F. ビーバー：無伴奏ヴァイオリンの為のパスサカリア ト短調
H.I.F. Biber : Passacaglia g minor

J.S. バッハ：ヴァイオリンとチェンバロの為のソナタ 第4番 ハ短調 BWV1017
J.S. Bach : Sonata for Violin and Harpsichord IV c minor

A. フォルクレ：クラヴサン組曲 第1番 ニ短調より
A. Forqueray : 4 Pieces for Harpsichord d minor

J.M. ルクレール：ヴァイオリンと通奏低音の為のソナタ ニ長調 Op.5-8 他
J.M. Leclair : Sonata for Violin and Basso continuo D major

Profile

豊嶋 泰嗣

Yasushi Toyoshima (ヴァイオリン)



桐朋学園で江藤俊哉、アンジェラの両氏に師事。86年、大学卒業と同時に新日本フィルのコンサートマスターに就任。その後もサイトウ・キネン・オーケストラ等でコンサートマスターを務めている。

ソリストとしては、ベルリン放響、モスクワ・ソロイスト、ロンドン・モーツァルト管等、国内外のオーケストラとの共演。

室内楽奏者としては、ハレー・ストリング・クアルテットを結成し、00年までカザルスホール・レジデントクアルテットを務めた。現在アルティ弦楽四重奏団のメンバーとして活躍。スターン、ヨーヨー・マ、アルゲリッチ、ズッカーマン、マイルスキー等との共演を重ねている。

現在、新日本フィルソロ・コンサートマスター、兵庫県立芸術文化センター管コンサートマスター、九州交響楽団桂冠コンサートマスター。

91年村松賞、第1回出光音楽賞、92年芸術選奨文部大臣新人賞受賞。京都市立芸術大学准教授。1719年製アントニオ・ストラディバリウスを使用。

中野 振一郎

Shinichiro Nakano (チェンバロ)



1986年桐朋学園大学音楽学部の演奏学科(古楽器専攻)を卒業。1990年に大阪で開いた4回連続の独奏会「ヨーロッパ・チェンバロ音楽の旅」により「大阪文化祭金賞」等を受賞。翌年7月にはフランスの「ヴェルサイユ古楽フェスティバル」のクーブラン・サイクルに出演。ケネス・ギルバートやボブ・ファン・アスペレンら欧米を代表する名手と肩を並べ「世界の9人のチェンバリスト」の一人に選ばれる。1992年「バークレー古楽フェスティバル」へ最年少の独奏家として招かれる。2003年「バッハ フェスティバル ライプツィヒ 2003」に出演。2004年7月から8月に掛けて行ったドイツでの単独リサイタルツアーが現地で大絶賛され、同年10月に日本で開催したリサイタルが「平成16年度文化庁芸術祭・大賞」を受賞した。2009年アジア最大級の音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」に初出演。『パーセル作品集』で第47回レコードアカデミー賞(音楽史部門)に輝く。2010年チェンバロ演奏のための手引書「チェンバロをひこう」(音楽之友社)を出版。毎年、音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」(東京ほか)では個性的なリサイタル・プログラムを披露し好評を博している。近年は、幅広いレパートリーと楽しいトークによるレクチャー・リサイタルも日本各地で高い人気を呼んでいる。京都市立芸術大学、名古屋音楽大学等で後進の指導にも励んでいる。